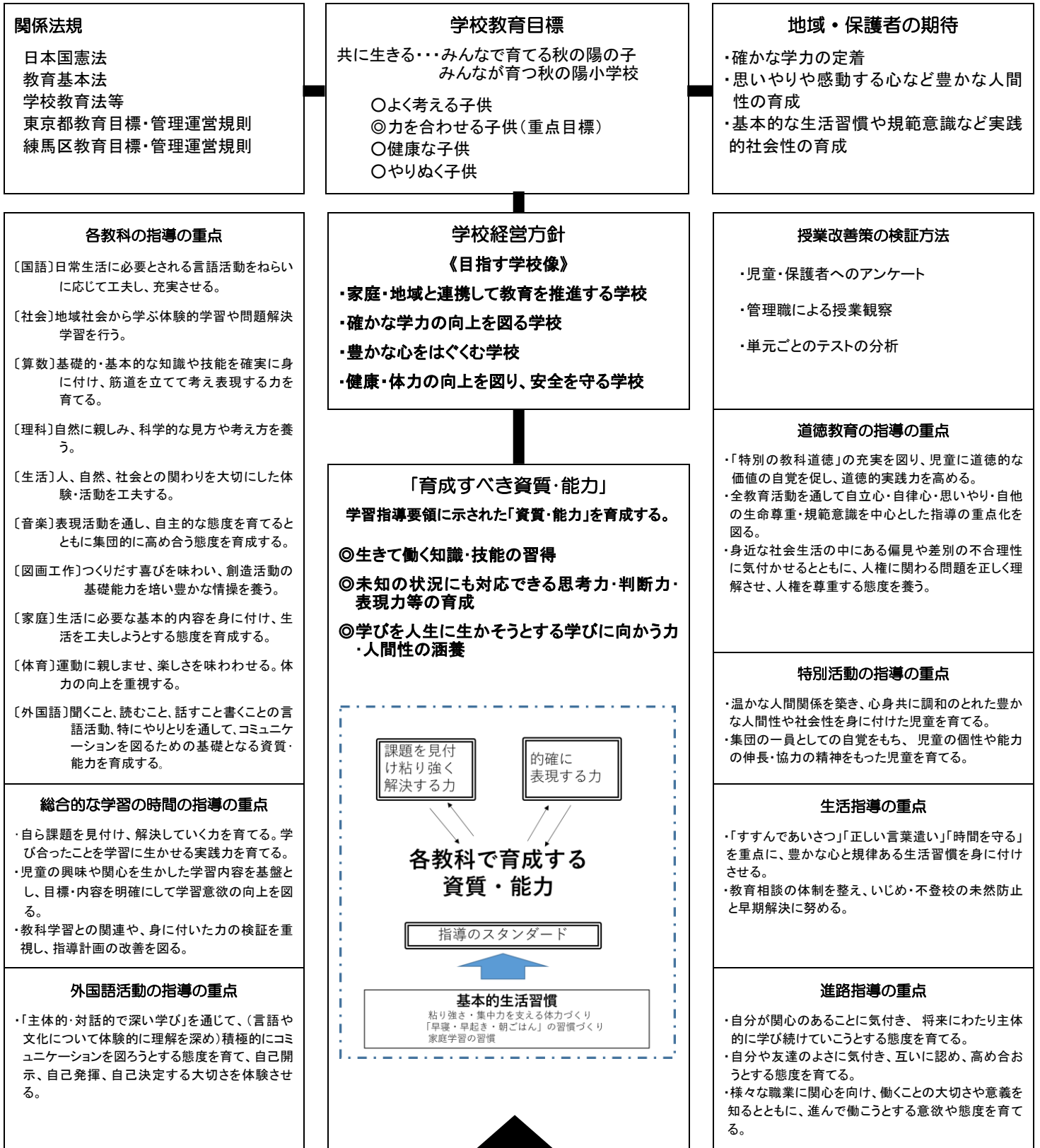


令和5年度学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確にした指導 ○一単位時間の配慮点を生かした授業づくり ○よいモデルや手本の提示 ○教え合い、学び合いの場の確保 ○一人一人の学力を伸ばすための学習コース設定 ○ICT環境やICT支援員の活用 ○「放課後15分間算数教室」などの、東京ベシック・ドリルの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○週時程の変更などを通して十分な授業時数の確保と学習意欲向上を重視した年間指導計画の作成 ○週2回の朝読書時間と、年間2回の読書旬間の設定による読書習慣の形成 ○業間等を活用した教育活動の充実 ○基礎・基本の定着を図る補充学習時間の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いきいきと考え、追究する児童の育成」を研究主題とし、いかに教科の特質に応じた見方・考え方を働かせるかを考え、学習の問題を追究・解決する活動を通して、教科・単元の目標を実現した学びの実現を目指す。 ○年間を通して外部講師の継続的な指導を受けながら研究を深める。 ○希望者を募り自主研修会を実施し、研究協議を重ねながら研究の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適正な評価基準の徹底 ○授業チェックリストを活用した自己診断 <p style="text-align: center;">小中一貫教育の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校区別協議会を活用した授業研究 ○「学校説明会・部活動体験」「作品交流」などの児童・生徒の交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開の積極的な実施 ○道徳授業地区公開アンケート、学校評価、保護者アンケートの活用 ○近隣幼稚園・保育園・小・中学校との日常的な連携 ○学校評議員との連携

